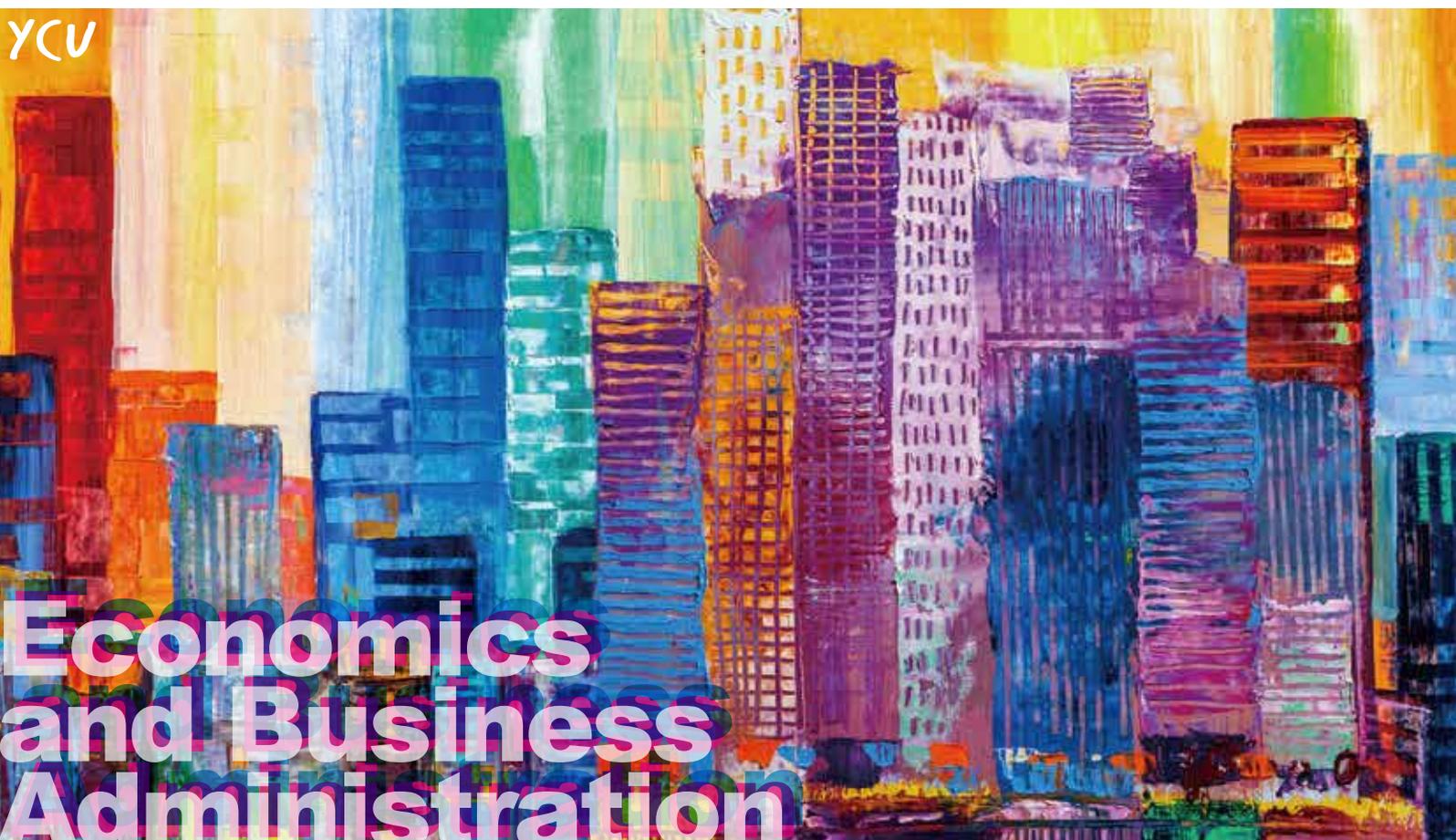


国際商学部



こんな学びを志向する人に

-  企画立案する方法や起業する方法を学びたい
-  「経営学」と「経済学」を1年間学んでから深く追求する学問を決めたい
-  金融機関の活動や金融などの政策について学びたい
-  さまざまな専門職(公認会計士、税理士)を目指したい
-  グローバル企業で活躍するための経営管理能力を身に付けたい
-  民間企業から公務員まで、幅広く自分の可能性を広げる学びをしたい

国際商学部の特徴

国際商学部は、経営学・経済学を中心とする学問的専門性にに基づき、現実の国際的な労働・製品・金融市場の動向を踏まえた社会経済活動を学ぶと共に、国際商業都市・横浜という地域での学びを通して、既成概念にとらわれない課題発見力と企画立案力、そして実業界で役立つ確かな英語力を培います。また、文理融合的思考力を養い、数理解解力やデータ分析力等を生かした特色ある教育を行います。これらの教育を通して、グローバル企業に必要な経営管理能力や新事業を創造する企画立案力を備え、学問的な専門性に裏付けられたマネジメントに関する高度な「実学」力により、実業界や公的組織で活躍する幅広い職業人を養成します。

特色1 「英語で学ぶ専門科目でビジネスに強い英語力を強化」

皆さんが大学を卒業する頃には、会議での公用語が英語となっている企業は増えている事でしょう。そうでないとしても、仕事で英語を使用する機会は確実に増えています。つまり、グローバル企業で活躍するために欠かせないのは、コミュニケーションのための英語力だけでなく、仕事に生かせる実践的な英語力だと考えます。そこで、国際商学部では、英語による専門科目（Global Business Strategy、Advanced Topics in Economics、Introductory Accounting等）を多数学ぶ事ができます。たとえば、Introductory Accounting Iを2年次前期に学修してもらうために、1年次に簿記入門を事前に日本語で学修できるように計画されているので、英語での専門科目の学修も無理なく進める事ができます。

特色2 「海外で実践力を養う、海外インターンシップ」

グローバル企業は世界各国に支社や事業所を開設しています。日本企業もこれから急速に世界中の都市に進出していく事でしょう。つまり、近い将来、「企業で働く」という事は国内だけでなく海外をフィールドとして活躍する事を意味するのです。そこで、国際商学部ではこれからのビジネスには欠かす事のできないグローバルな視点と経営管理能力を入学後の早い段階から意識し、確実に獲得してもらうため、また、在学中に海外で働く事を体験してもらいたいという思いから、海外企業等へのインターンシップに参加する機会を提供していきます。

特色3 「データ分析、起業、医療経営等多様な専門性を育成」

ビジネスの世界、たとえば、新商品を開発し販売し収益を上げるまでには、どこに工場を建設するのか、原材料はどこから購入するのか、工場の作業員をどのように確保するのか、商品の広告費にいくらかけるのか、そして、商品の価格はいくらにするのか、その他、決断しなければならぬ課題がたくさんあります。こうした課題解決に経営学と経済学の知識は必須です。しかし、今ではこうした課題の解決に経営学や経済学以外の知識も必要となっています。そのひとつが膨大なデータを分析し見える化する能力です。また、経済成長が見込まれない社会で企業が発展していくためには、新事業を創り出す（起業する）ための企画立案力も必要となってきます。その他、人口が減少していく社会では医療に関係する課題も山積しており、こうした諸課題に経営的な視点からの解決が強く求められています。そこで、国際商学部では、本学のデータサイエンス学部や医学部と連携し、「計量経済学」、「起業家人材論」、「医療イノベーション経営管理論」等特色ある科目を設け多様な専門性を育成します。

Message from the Dean

「人と進んで交わり共に資質を高める」という理念のもと

豊富な卒業生ネットワークを生かして、グローバル社会で活躍するための実学力を高める。

国際商学部長
大澤 正俊 Masatoshi Osawa



国際商学部は、1928年設立の横浜商業専門学校を開学の祖とし、1949年に新制大学(学校教育法に拠る大学)商学部として発足しました。その後、2005年から国際総合科学部(経営科学系)として、これまで、開国・開港の地である横浜にふさわしく、開放的で国際性・進取性に富む学风は受け継がれ、実践力の溢れる人材を多数輩出してきました。現代社会は、グローバル化、ICT(情報通信技術)の急速な発展、少子高齢化による市場の縮小や労働人口の減少等が、想像以上のスピードで進んでいる状況です。これに伴い大きく変化してきているビジネスの世界でも活躍できるリーダーを養成

する事が、これからの横浜国立大学の使命であると受け止め、2019年4月国際商学部を設置するに至りました。国際商学部でも「人と進んで交わり共に資質を高める」という開学当初からの理念のもと、精神的に実業界と関わりながら実学力(経営学・経済学の専門性に裏付けられたマネジメントに関する実践力)を養っていきます。そのため学外実習では、実業界で活躍している多くの卒業生とのネットワークと国際商業都市である「横浜」というフィールドを生かし、学問的な理論・知識に加え、実践力を高める教育を行い、実業界や公的機関等で活躍できる職業人の育成を目指します。



4年間の学びのイメージ

	1年次	2年次	3年次	4年次
学部の特長	国際商学部の入門科目を学び、基礎を固める	経営と経済の基礎理論を学び、2年次後期から専門ゼミに所属し、専門領域を決定する プレゼミ 英語による専門科目(基礎) 海外留学・学外実習 前期には、海外留学・学外実習として、 ●海外サマーセミナー参加 ●海外企業インターンシップ等 積極的に海外体験を推奨する期間があります。	経営と経済の応用科目からグローバル企業に必要な経営管理能力や企画立案力を学び、専門領域を深める 演習 英語による専門科目(応用)	学修をさらに深化させ、4年間の集大成として卒業論文を作成する 卒論演習 大学院科目の早期履修
共通	全学開放科目 共通教養科目 教養ゼミ/基礎ゼミ Practical English Advanced Practical English			
領域横断	領域横断型人材育成プログラム			

実践で学ぶための海外体験や実習

1年次は国際商学部の入門科目を学び、2年次には経営・経済の基礎理論をしっかり学びます。さらに、2年次の6月中旬から9月にかけて、海外企業インターンシップや短期留学等、積極的に海外での体験を積める期間を設けています。そして2年次後期になると専門ゼミに配属され、専門を深めていく事になります。また、国際商学部では、さまざまな企業や自治体と連携した「企画提案型実習」、医学部やデータサイエンス学部とも連携した「文理融合型実習」を設け、アクティブラーニングによる学びで実践的なテーマに挑戦します。

国際商学部専門科目一覧

専門科目					
医療イノベーション経営管理論 サービス・ビジネス論I サービス・ビジネス論II 公会計論 起業家人材論 起業プランニング論 医療経営論 Global Business Administration Global Business Strategy Global Organization Theory Japanese Industry Japanese Economy Global Leadership Global Service Management Global Human Resource Development Introductory Accounting I Introductory Accounting II Intermediate Accounting International Business Basics of Corporate Analysis and Valuation Global Innovation Management Global Marketing	Advanced Topics in Economics Introduction to IFRSs Business Economics 民法・物権I 民法・物権II 民法・債権I 民法・債権II 環境法 財務諸表分析I 財務諸表分析II 経済統計I 経済統計II 経済政策I 経済政策II ミクロ経済学I ミクロ経済学II マクロ経済学I マクロ経済学II 行政法I 行政法II 国際金融論I 国際金融論II	金融論I 金融論II 計量経済学I 計量経済学II 経営財務論 財政学I 財政学II 公共経済学 地方自治論 コーポレート・ファイナンス ビジネスエコノミクス 商業簿記I 会計学原論I 会計学原論II 工業簿記 経営労務 経営組織論 マーケティング論 国際経営論 原価計算論 国際会計論	経営戦略論 マーケティングリサーチ 組織行動論 人的資源管理論 企業論 経営情報論 財務諸表論 コーポレート・ガバナンス コストマネジメント論 イノベーション・マネジメント 組織文化論 経営史 証券市場論 監査論 ベンチャービジネス論 多国籍企業論 管理会計論 企業戦略論 国際税務戦略 生産管理論 リスクマネジメント論	中小企業論 税務会計論 消費者行動論 流通ロジスティクス論 情報の経済学I 情報の経済学II 経済学 国際経済学I 国際経済学II ゲーム理論 公共政策 都市経済学 ファイナンス理論 契約理論 産業組織論 労働経済学 社会保障論 地理情報システム論 港湾都市論 資源経済学 環境経済学 経済成長論	景気循環論 金融システム論 公共選択論 地方財政学 会社法 租税法 ビジネス法務 手形小切手法 金融商品取引法 倒産法 サマープログラム インターンシップ実習 企画立案型実習A 企画立案型実習B 文理融合型実習A 文理融合型実習B 医療経済学 医療政策学 等
専門ゼミ					
プレゼミA	演習I	演習II	演習III	卒論演習I	卒論演習II
					卒業論文

SDGsへの取り組み

マーケティング、消費者行動が専門の演習(柴田ゼミ)で社会的課題解決に貢献するブランド戦略立案と実践

コロナ禍でゼミ生達は、自身の食と健康、持続的な社会に強い関心を持ちました。これをきっかけに、同じ問題意識を持つ横浜南部市場の水産会社(株)横浜食品サービスや、横浜中華街の発展に寄与する活動を行う横浜中華街発展会協同組合と、それぞれ連携活動をスタート [17 (パートナーシップ)]。水産エコラベルのMEL認証認知拡大策 [14 (海の豊かさを守る)] や、食品加工時に発生し食品ロスになってしまう「端材」の商品化とプロモーション [12 (食品ロス)]、食文化継承に向け大手量販店で「おさかなお弁当」の販売 [3 (健康に貢献する食)、12 (食品ロス)]、中華の伝統文化である「打包(ダバオ)」という食べ残しの持ち帰りを推進するマーケティング活動 [12 (食品ロス)]、横浜中華街の未来につながるファンづくり [11 (持続可能な街)]のほか、SDGsに対応しながらブランド力や企業価値向上に寄与するマーケティング的アプローチにチャレンジしています。

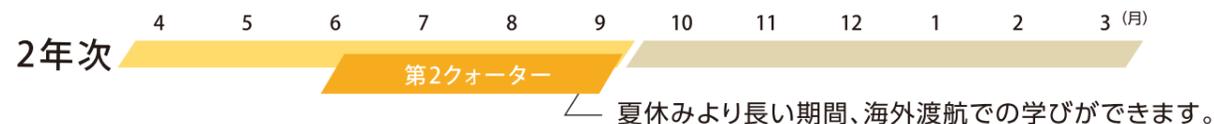
おからまぐろコロケック (学生によるイラスト)

レシビカード (学生によるイラスト)

グローバル人材育成をモットーとする横浜市立大学では、さまざまな海外プログラムを用意しています。ここでは、「第2クォータープログラム」についてご紹介します。

第2クォータープログラム

必修科目が配置されない2年次前期の後半(第2クォーター)の期間を利用して留学に挑戦できます。多種多様な渡航先から選択でき、短期間の渡航はもちろん、夏休みと組み合わせて長めのプログラムに参加することも可能です。



2022年度の募集実績を基にした内容です。次年度以降、プログラム内容は変更となる場合があります。

第2クォーター渡航プログラムのメリット

- * 夏休みより長い期間で海外渡航が可能!
- * 日本人が少ない時期に海外渡航できる!
- * 豊富な渡航先のプログラム(学部授業、サマースクール、語学)から自分にあったものを選択することが可能!
- * 長期休業期間に比べてフライトが安価なケースが多い!

対象 国際教養学部・国際商学部・理学部・データサイエンス学部学生

実施時期 2年次の6月~9月

渡航先 (2022年度募集実績)

- ビクトリア大学(カナダ)
- チェンマイ大学(タイ)
- ド・モントフォート大学(英国)
- サンディエゴ州立大学(米国)
- ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校(アメリカ)
- 国立政治大学校(台湾)
- 延世大学校(韓国)

※その他英語以外の外国語(フランス語・ドイツ語・スペイン語・中国語・韓国語・朝鮮語)の習得を目指す人向けのコースもあります。

経済的支援を受けることが可能です。

- 大学からの補助金
- 後援会からの助成金

※費用面のサポートおよび奨学金の利用は選抜のうえ決定する場合があります。

単位認定可能!

※プログラムにより対象科目や必要条件が異なります。



第2クォータープログラム 海外インターンシップ

海外の企業で実際に就業体験ができる、YCU独自のプログラムです。2年生の第2クォーターという大学生活の早い段階から海外で働く経験を積むことで、国内外問わず広いフィールドで活躍するために必要な国際感覚やリーダーシップ、語学力などを身に付けることができます。将来、海外へ積極的なビジネス展開を行うグローバル企業で活躍したいと考える方におすすめのプログラムです。

※海外インターンシップは2年生の第2クォーター以外の期間(8~9月、2~3月)にも参加できます。
※詳しい内容については、グローバル推進室 またはキャリア支援センターにお問い合わせください。



★留学先やその他のプログラムについての情報は、大学webサイトにて公開しています。



ここからチェック

教員紹介

Introduction of teachers

	岩佐 朋子 イワサ トモコ 准教授 ビジネスエコノミクス Tomoko Iwasa		坂口 利裕 サカグチ トシヒロ 教授 社会学 Toshihiro Sakaguchi		長畑 周史 ナガハタ シュウシ 准教授 会社法 Shushi Nagabata
	大澤 正俊 オオサワ マサトシ 教授 民法・物権 Masatoshi Osawa		柴田 典子 シバタ ノリコ 准教授 マーケティング論 Noriko Shibata		中村 祐太 ナカムラ ユウタ 准教授 ゲーム理論 Yuta Nakamura
	太田 塁 オオタ ルイ 教授 国際経済学 Rui Ota		白石 小百合 シライシ サユリ 教授 計量経済学 Sayuri Shirashi		根本 裕太郎 ネモト ユウタロウ 准教授 サービス・ビジネス論 Yutaro Nemoto
	大塚 章弘 オオツカ アキヒロ 准教授 都市経済学 Akihiro Otsuka		随 清遠 ズイ セイエン 教授 金融論 Qingyuan Sui		原 広司 ハラ コウジ 准教授 医療イノベーション経営管理論 Koji Hara
	大坪 徹也 オオツボ テツヤ 准教授 経営情報論 Tetsuya Otsubo		高橋 隆幸 タカハシ タカユキ 教授 税務会計論 Takayuki Takabashi		藤崎 晴彦 フジサキ ハルヒコ 准教授 原価計算論 Haruhiko Fujisaki
	加藤 弘陸 カトウ ヒロタカ 講師 医療経済学 Hirotaka Kato		張 櫻馨 チャン インシン 教授 国際会計論 YingHsin CHANG		三浦 敬 ミウラ タカシ 教授 会計学原論 Takashi Miura
	康 聖一 カン ソンイル 教授 情報の経済学 Seongill KANG		中條 祐介 ナカジョウ ユウスケ 教授 財務諸表分析 Yusuke Nakajo		吉永 崇史 ヨシナガ タカシ 教授 経営組織論 Takashi Yoshinaga
	鞠 重鎬 クック ジュンホ 教授 財政学 Joongho KOOK		中園 善行 ナカノ ヨシユキ 教授 マクロ経済学 Yoshiyuki Nakazono		和田 淳一郎 ワダ ジュンイチロウ 教授 公共経済学 Junichiro Wada
	黒木 淳 クロキ マコト 教授 管理会計論 Makoto Kuroki				
	小泉 大輔 コイズミ ダイスケ 准教授 人的資源管理論 Daisuke Koizumi				



YCU Campus Life



こんにちは!宮澤 希実です。
経営・会計について学んでいます!

宮澤 希実 (みやざわ のぞみ)
国際学部国際商学科3年
長野県松本県ケ丘高等学校 卒業

志望理由

私がYCUを志望したのは、少人数制授業が多く、経営と英語を学ぶことができるところに魅力を感じたためです。特に英語に力を入れ、オールイングリッシュで行う授業など学ぶ環境が整っているところに惹かれました。

勉強方法

一般選抜で合格しましたが、特に2次試験の英語対策を重点的に行いました。長文読解のスピードを上げることを意識して過去問を解くようにしていました。

英語で学ぶ専門科目とは?

私が受講した授業では、組織のグローバル化について学びました。様々な指標を使って自分の性格や価値観を分析し、組織の中でどのように作用するのかを考えます。全て英語で学びますが、不明点は先生やグループの仲間に相談できるので、安心して授業に臨むことができました。英語学習の意欲もより高まります。

ゼミについて

私の所属するゼミでは、実際に企業の方と連携しながら研究を行っています。またグループで大会に出ることもできます。難しい活動もありますが、先生にアドバイスをいただき、ゼミの仲間と協力しながら頑張っています。

おすすめスポット

YCUスクエア前のベンチ
友達とオンライン授業を受けたり、お昼を食ったりおしゃべりをしたり交流の場としておすすめです。天気の良い日はとても気持ち良いですが、トンビに注意です。運が悪いとお昼を盗られます!

受験生へのメッセージ

自分がやりたいことを思い描いて頑張れば道は開けると思っています。苦しいこともたくさんあると思いますが、頑張ってください応援しています!!



ある1日のスケジュール

<p>8:00 起床。 授業に遅れないように頑張って準備します!</p>	<p>10:30 授業開始。 働き方について考える授業などがあり、自分の将来について考えられる有意義な授業がたくさんあります。</p>	<p>12:15 昼食。 学食やコンビニでお昼を買って、学部の友人と一緒に外のベンチで食べたりします。</p>	<p>12:50 午後の授業開始。 眠くなりますが頑張っています!</p>	<p>14:30 ゼミ。 週に一回あります。自分たちで課題を立ててグループで協力しながら研究しています。</p>	<p>16:00 授業終了。 友達と遊んだり、アルバイトをしたりと自由に過ごします。</p>
---	--	--	--	---	---

卒業後の主な進路

1 製造業	14.1%
2 情報通信業・マスコミ	25.5%
3 広告・コンサルティング・専門サービス業	17.3%
4 公務員・教員・特殊法人	7.7%
5 商社・卸売・小売業	8.6%
6 建設・不動産業	5.0%
7 金融・保険業	8.6%
8 その他	13.2%

※2023年3月31日時点での情報

- 製造業
いすゞ自動車株式会社
キヤノン株式会社
キユーピー株式会社
株式会社崎陽軒
株式会社クボタ
グンゼ株式会社
サンスター株式会社
株式会社タカラトミー
株式会社パンダ
株式会社日立製作所
富士通株式会社
三菱電機株式会社
ユニ・チャーム株式会社
- 金融・保険業
株式会社ジェシービー
大同生命保険株式会社
大和証券株式会社
東京海上日動火災保険株式会社

- 株式会社三井住友銀行
三井住友信託銀行株式会社
株式会社三菱UFJ銀行
株式会社横浜銀行

- 建設・不動産業
株式会社オープンハウスグループ
株式会社関電工
清水建設株式会社
大成建設株式会社
大和ハウス工業株式会社

- 広告・コンサルティング・専門サービス業
UUUM株式会社
デロイト トーマツ コンサルティング合同会社
有限責任監査法人トーマツ
株式会社ナガセ
株式会社野村総合研究所

- 公務員・教員・特殊法人
会計検査院

- 国税庁
財務省東北財務局
総務省
東京国税局
東京都庁
東京都特別区
横浜市役所

- 商社・卸売・小売業
キャノンマーケティングジャパン株式会社
全日空商事株式会社
株式会社マクニカ
三菱商事ケミカル株式会社

- 情報通信業・マスコミ
アマゾンジャパン合同会社
株式会社インテージ
株式会社NTTドコモ
株式会社オービック
グリー株式会社

- 株式会社時事通信社
株式会社ジュビターテレコム
株式会社小学館集英社プロダクション
東日本電信電話株式会社
株式会社ビズリーチ
楽天グループ株式会社

- その他
株式会社JT
全国農業協同組合連合会
株式会社ディー・エヌ・エー (DeNA)
凸版印刷株式会社
日本航空株式会社

- 主な進学先(大学院)
University of Edinburgh Business School
横浜市立大学大学院

他



国際マネジメント研究科(大学院)

グローバル経済に対応したカリキュラムとサービス・サイエンス研究プログラムの提供

グローバル化が進む企業で活躍できる人材の育成を教育目標としています。この目標を達成するため、博士前期課程では履修科目群を「基礎科目群」と「応用科目群」で構成し、段階的に専門知識を身に付けていける体制を整えると共に、特定の指導教員による2年間の研究を通し、問題発見、問題解決、プレゼンテーション等の能力の向上を支援します。経営管理手法を用いて社会課題解決をめざす学生を対象として、経営学・経済学の知識やスキルの習得を目指すソーシャル・イノベーション社会人MBAプログラム(SIMBA)も、本研究科の特色です。所定のプログラム対象科目を一定単位以上取得した場合、本研究科により、ソーシャル・イノベーション研究プログラム修了者として認定しています。

5年一貫プログラム

学部4年次から大学院科目を履修することにより、通常は2年間の在籍が必要となる、1年間で修了(修士の学位を取得)できる制度です。



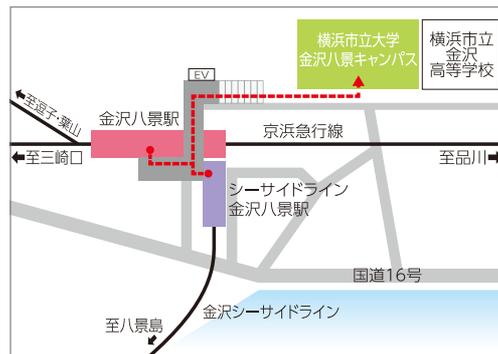
大学院の学びをひと足先に体験!!

本田 龍司 (ほんだ りゅうじ) 国際マネジメント研究科 博士前期課程1年
神奈川県 私立桐光学園高等学校 卒業 横浜市立大学 国際商学部 卒業

私は学部2年次にオンラインを活用して、毎日のように国際商学部の友人をはじめ、いくつかのプロジェクト運営や勉強会を行っていました。職場での女性の活躍や、そのために必要な取組み、男性のあるべき姿勢や必要な知識について当事者たちに学びました。そこで得られた知見は現在の研究に生かされています。横浜市立大学には社会問題への関心が高い学生が多く、学内の取組みには人が集まりやすいことが魅力だと思っています。3年次の夏頃まではスタートアップ企業への就職なども考えていたため、2つの方向性で検討していましたが、最終的には同年10月に5年一貫プログラムによる国際マネジメント研究科への進学を決めました。現在は、障害のある従業員と関わるマネジャーや、企業の障害者雇用への取組み、マネジメントについて関心を持ち、研究しています。また、博士後期課程への進学を目指して、海外ジャーナルへの論文投稿に挑戦しています。



横浜市立大学へのアクセス



- 京浜急行「金沢八景駅」下車徒歩5分
- シーサイドライン「金沢八景駅」下車徒歩5分

YCU
横浜市立大学
YOKOHAMA CITY UNIVERSITY

www.yokohama-cu.ac.jp/admissions/

横浜市立大学 国際商学部

[お問い合わせ] アドミッションズセンター

〒236-0027 神奈川県横浜市金沢区瀬戸22-2 TEL.045-787-2055 FAX.045-787-2057

